

株式会社コーソルは「育児短時間勤務制度」をはじめ、従業員のワーク・ライフ・バランスと心身の健康を支援する福利厚生制度を多数、整備しています。ユニークな制度を導入することになった経緯や効果についてお伺いしました。

人事・総務部に聞く

やさしい福利厚生

同社では、男女ともに働きやすい環境をめざしている。2018年度は、男性の育児休業取得率は63%、平均取得日数は23日となっている



従業員の家族同士の交流を図る「ファミリーデー」を毎年開催

従業員のニーズに答え 「時短」を小学校卒業まで延長

CO-Solutions 共に解決するの理念のもと、データベースに関する高い技術を活かした事業を展開している株式会社コーソル。同社では、従業員一人ひとりがより働きやすく、生き生きと仕事ができる環境をつくるため、さまざまな制度を設けています。とりわけ、仕事と育児を両立しやすい風土づくりに注力しており、育児休業取得率の向上を推進しています。

たとえば、最長で子どもが小学校を卒業するまでのあいだ勤務時間を短縮することができる「育児短時間勤務制度」（15分単位で最長2時間まで）、さらに育児によって制限された勤務時間の賃金の50%を補填する「育児支援手当」などを導入し、育児をサポートしているのです。

「育児短時間勤務制度」は当初、当時の法律で定められていた3歳未満の子どもを育てる従業員のみを対象としていましたが、従業員からの要望に応える形で、期間を小学校卒業まで延長したとのこと。また、「育児支援手当」の導入後は、出産・育児を理由として退職する従業員がゼロになったとのこと。このような制度を設けた結果、同社では従来以上に、従

業員が安心して長く働ける環境・風土が醸成できていると実感しているそうです。

企業の経営を支える土台は 従業員の心身の健康にあり

同社は、人こそがすべての事業を支える土台だと考えています。エンジニアを中心とするそれぞれの従業員がお客さまからの信頼と評価を得て、さらにビジネスを拡大していくためには、技術力とサービスの品質を高いレベルで確保することが必要です。そのための大前提として、従業員の心と身体が健康であることが大切だというのです。

このような考え方に基づき、同社では、社長および人事担当者が年1回、全従業員に対する面談を実施。会社に対する想いや意見をヒアリングすることで、社内の課題解決や職場環境の改善を図りながら、体調不良などによる早期退職を防ぐ取り組みを行っています。

また、従業員の家族同士の交流を図る目的で、毎年、「ファミリーデー」を開催するなど、アットホームな職場づくりに注力している同社。これからも、経営の基盤となっている従業員の心身の健康を一番に考える経営姿勢で、お客さまと社会に貢献していくに違いありません。

株式会社コーソル/2004年事業開始。「データベース技術」×「サービス」を軸に事業を展開。2019年時点でデータベース最高峰資格「ORACLE MASTER Platinum」取得者数国内第1位。東京・福岡・トロントの3拠点で連携し、データベースの定常業務から障害発生時の対応を24時間365日リモートで行なう「リモートDBAサービス」など、独自のサービスを展開。2016年「くるみんマーク」取得。「イクメン企業アワード2019両立支援部門」グランプリ受賞。https://cosol.jp/

